

気流 U-25

読売新聞 令和2年(2020年)9月29日(火)

SNS上の情報 発信意図考えて

大学生 重水 佑太 21
(大阪府門真市)

上半期は教員採用試験に向けて勉強していた。大学は入構禁止なので、ずっと自宅で過ごし、情報源はスマートフォンだった。休憩中にはスマホでSNSを確認する。様々な情報の中で一番目についたのは、私と同世代の若者からの発信だった。

政治家や思想家ら、大勢の人たちが発信している

が、「インフルエンサー」と呼ばれるSNSの世界で影響力を持つ若者の発言への支持はすごい。ただ、その情報をうのみにしてよいものかどうか、尻込みもした。

誰かが発信した情報を信じ拡散する。正しく有益ならばよいことだが、発信源となった人が何を思い、どういう意図でSNSに投稿したのかをしっかり考えることが大切だ、と思った。

若者には行動力がある。それだけに間違った情報や解釈を拡散してしまう危険性が、このコロナ禍で気になっている。

※無断転載不可